修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝来紀
東京都千代田区西神田
1丁目3番地（幅ビル）
電話 (262) 2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

# 改善努力に邁進

## 関修委の研究集会開く

関東中学校修学旅行研究集会は二月十四日午前十時から東京、千代田区の科学技術館会議室で、関東地区中学校修旅委主催、各県中学校長会、財団法人全修協後援、財団法人日本科学技術振興財団協賛で開催、関東各県から中学校長や修旅担当教諭約百二十名のほか、来賓として運輸省、国鉄、大手斡旋業者が出席、修旅についての三提案により討議が行なわれ、関修委の組織をあげて修旅の改善努力することを誓い合った。国学院大学教授、文学博士樋口清之氏の特別講演もあって午後二時すぎ閉会、続いて科学技術館を見学した。

## 付添旅費の支給も

関修委篠原会長の開会の辞、栃木県修旅委宇塚会長あいさつのあと後援団体として財団法人全修協永井常務理事、協賛の科学技術振興財団・科学技術館吉村技術課長代理がそれぞれ祝辞を述べた。来賓、助言者の紹介があり、つづいて埼玉県修旅委運営委・高橋大宮南中校長が司会者となって提案に入った。①修旅のカリキュラム（栃木県宇都宮市泉が丘中学校増淵増雄教諭）②修旅の安全性（千葉県柏中学校吉沢備之進教諭）③修旅の保健衛生（埼玉県蓮田町黒浜中学校関根武之進校長、同野崎好雄教諭）の提案にたいして討論が行なわれた。

とくに②のなかにある「教職員の宿舎における不寝番は疲労するので好ましくないのではないか」という質問にたいし、提案者は、「平等責任となると全職員が疲れてしまうのでこの方法がよいと思う」と答えた。これに関連して、「教職員の修旅による超過勤務をいかに扱っているか」では「後日、埋め合わせている」「そのままにしている」「翌日の始業時を遅らせる」など各県各校まちまちの答えがあった。

さらに付添い旅費は各県とも正規に支給されておらず、これについて関修委として真正面から是正運動に努めることを申し合わせた。

③は提案校が昨年、関西旅行のとき赤痢患者を出した経験を基にしたもの。これについて「半年ごとにやっている旅館従業員の検便を、少くとも毎月実施してほしい」と要望した。

そのほかの問題では、修旅専用電車「わかくさ号」について、車中の飲料水不足と初秋の暖房、車内放送の利用、走行時間の短縮などを希望したのに対し、国鉄本社旅客営業局の名波営業部長は「飲料水は貯水タンクの改良もあるので車両担当部局と相談したい。暖房は基準はあるが要望に応えたい。車両放送は業務にしか使わぬことになっているので了承ねがいたい。時間短縮は来年十月にダイヤ改正があり、それまでは現行でやるよりほかはない」と説明した。

助言者として出席した順天堂大学付属病院の室伏医局長は③について旅館従業員が法定伝染病などに罹ったことを知ったら斡旋業者は利益を度外視して、すぐ学校へ通知してほしい。罹患の生徒にはかわいそうだが、現地ですぐ隔離するようにと述べた。

続いて「歴史の真実と修旅」と題する国学院大学教授・樋口清之博士の講演があり、そのなかで同博士は「ガイドの説明ばかりに頼らず先生がた自身が指導者となるべきだ。また、現地では生徒に疑問を持たせ、究明させることが本当の教育ではないか」と語り、奈良、京都、鎌倉、日光などの実際についてくわしい具体例を示し、参加者に大きな感銘を与えた。

写真は関修委の研究集会（千代田区科学技術館会議室で）

## 修旅コースの説明懇談会

### 中国五県主催で開く

岡山、広島、山口、鳥取、島根の中国五県主催の修学旅行コース説明懇談会は財団法人全修協後援東京私立高校協会修旅研究調査会協賛で二月十八日午前十一時から東京・千代田区の私学会館に都内私立高校や中学校の修旅担当者約五十名が参加して開催、先ず中国五県協議会長久津名等平氏のあいさつ、鳥取県東京事務所長平岩照耳、岡山県東京事務所長三村克一、広島県物産東京事務所長延近功人、山口県物産観光事務所長本永茂良、島根県東京事務所物産観光部長内藤憲三氏らのコース説明が行なわれた。全修協調研部長山本実氏の「修旅のあり方」私学修旅研究調査会代表幹事鷗友学園教諭新井福之助氏の「修旅の現状と今後」と題する講演のあと、参加者から活発な質疑が行なわれた。なお映画「山陰の国立公園」「山陽路の旅」も上映された。

## 修旅目標を明確に

### 都道府県教育長協　次回も継続検討

都道府県教育長協議会（幹事長＝小尾東京都教育長）の第一部会（学校教育）は二月十四日、東京・霞ケ関の国立教育会館に田村部会長（群馬県教育長）ほか部会員の北海道、山形、栃木、石川、京都、鳥取、高知、宮崎、大分各県の教育長が参集して開催、昨年十一月に引続いて修旅対策を議題に検討した。

この日、修旅についていろいろな意見がでたが、「現行の修旅は目標がはっきりしない」「方法としては青少年の家を利用する合宿もよいのではないか」「工場見学などにしぼるのもよい」などがおもなものだった。

次回は四月二十日ごろ高知で開くが、それまでに各県ごとに具体例や意見をまとめ改善に資することを申しあわせた。

## 専用列車の増設を

### 安全輸送　関係者に対策をきく

本紙では前号の「修旅費値上りにどう対処するか」につづいて今回は〝交通の安全性〟ついて各支部長を通じ教育関係者から意見をきいた。輸送では〝鉄道が安全〟とするものが圧倒的で、バスについては乗務員の再教育を望む声が多かった。

修旅の安全輸送を図るためには「遠距離をやめる」（岸和田市岸城中学校長・内田安守氏、秋田市県立秋田高校PTA役員・齋木得四郎氏）とか「短期な日程は組まぬ」（秋田県教委指導主事・平梶守氏）さらに「昨年度から遠距離にするよう指導、本年度は従来の東京方面だけを大阪方面を入れて二分する案をまとめる」（長崎県教委指導主事・畑野昭雄氏）ということまで発展している。

さらに「大集団は不適当だ。やむを得なければ現地で小集団にする分割行動の組織も必要」（大阪府教委保健体育課・三井正己氏）のなか「実施月の集中を避ける」（鳥取県教委指導課・野田吉夫氏）「中学三年だけでなく、一、二年生も実施したい」（長崎県小中学校長会長・末武梅雄氏）という提案である。

交通機関では「列車（電車）が安全」（鹿児島県教委指導主事・[illegible]氏、山形県教委指導課長・[illegible]氏、岸和田市・内田安守氏、さらにそのためには「専用・臨時列車を確保したい」（鹿児島県鹿児島商業高校教諭・片平勝氏、和歌山県稲原西小学校長・部修旅委員会長、津村良信氏）との訴えもきかれた。

バスについては「遠距離は避けよ」（三重県教委指導主事・沢村武雄氏、兵庫県姫路市教委教育長・大江光次氏）「つめ込み主義はやめてほしい」（鳥取県教委教育長・木島[illegible]氏、鹿児島県・片平勝氏）「定員乗車の励行を」（三重県・沢村武雄氏）のほか「乗務員の再教育を望む」（和歌山県中学校長会副会長・高垣俊雄氏、同県御坊市教育委員長・湯川[illegible]氏、三重県中学校長会長、楠南中学校長・伊藤愛氏、鹿児島市吉野中学校教頭・大園源蔵氏）や「先導車連絡車をつけよ」（兵庫県・大江光次氏）「専用バスを作る」（和歌山県美山小学校長・林功一氏）という意見もあった。

「伊勢地方だけについていえば輸送方法がよく、安全性も高い」（長崎県川西小学校長・北田義雄氏）や「現行でも安全性は確保されている」（神戸市立兵庫商業高校長・山下[illegible]氏）という答えも目立った。また、これらの交通機関にたいする「速度も加えよ」（[illegible]）と[illegible]から要望している。

## 133万を突破

### 昨年の文京区内宿泊

修学旅行など団体専用旅館五十軒を管内に持つ東京・文京区の本郷消防署の調べによると、四十一年一か年にこれらの旅館に宿泊した児童生徒は百三十三万九千二百十七名。前年の四十年は百二十九万八千八百十六名だったから四万四百名の増、三十八年にくらべ約十八万名もふえている。

月別にみると一位は十月で二十二万九千四百二十九名、二位は四月で二十二万一千九百十九名、三位五月二十一万五千七百九十五名、四位は十一月十九万六千三百五十二名。一月はゼロだが、十二月でさえ二万三千三百二人もあった。

学校別では、高校が一千五百六十八校で十月の四百三十七校が最高、中学校は高校とほぼ同数の一千五百四十五校で四月が五百十八校で第一位。また、小学校も一年間に百二十五校あり、四月の四十五校が最高だった。

さらにこれを府県別にみると、高校では①北海道三七六校②福岡二〇七校③熊本一二五校。中学校は①新潟一九五校②和歌山一一六校③兵庫一〇七校。小学校は①静岡六九校②山梨一九校③長野一二校で、高校のなかには沖縄からの三十二校が目立ち、小学校の宿泊は東京近県に多いが、徳島、高知両県が一校ずつもあった。

シーズン前になると消防署へ旅館の防災について問い合わせや依頼状が殺到する。昨年は二百七十五件もあったが、これは水上温泉や白浜温泉などの旅館火災で関心が深くなったものとみられる。なかには「○月○日××旅館に着くからよろしく」とハガキで至極簡単に知らせてくるものや、人員、性別など不明のもの、あるいは旅館名さえ書いていないものもあり同署の予防課ではその問い合わせに余分な手数がかかると訴えている。

さらにタイプ印刷した調査依頼書を機械的に各方面へ発送するため保健所あてのものが舞い込むこともあるという。反対に心あたたまる例としては、生徒からの依頼で旅館内での注意をくわしく書いて送り、当日は消防署からとくに係官を派遣して指導したところ、感激した生徒たちは帰校後、礼状とともに郷土名産の菓子を送ってきた新潟県の某中学校もあった。

## 熱海の宿泊ふえる

熱海保健所の調査によると昨年一月から十月までの間に熱海市に宿泊した修学旅行は高校百三十、中学校百二十五で約七万人。前年より約三割の増。

## 推進功労者に感謝

### 首都美化運動で

東京都主催の「四十一年度首都美化推進感謝のつどい」は二月八日、渋谷区の渋谷公会堂で行なわれ、七百一団体と三百二十一名の個人に対して美化推進功労の感謝状がおくられた。

**伊豆大島で視察研究会**　東京都大島町、財団法人全修協、社団法人東京都観光連盟共催の伊豆大島視察研究会は東京私立中高校協会後援、東海汽船の協賛で二月二十三、四日行なわれた。

## 都内見学の研究会

### バスで東京を一めぐり

都中学校社会科教育研究会（松本和三郎会長＝練馬開進四中校長）と財団法人全修協共催、日本観光地理学研究会、財団法人日本科学技術振興財団後援、近畿日本ツーリスト協賛の〝都内見学の会〟は一月三十一日、都内各中学校長や社会科担任教諭三十名が参加して行なわれた。

バスは午前九時東京駅前を出発和田倉門、日比谷、銀座、築地を経て晴海埠頭へ。ここで輸入雑貨の荷揚げ状況を見学したあと深川の木場、山谷、浅草観音、浅草寺の庭園、東大前、赤門前を経て竹橋。科学技術館では現代科学の粋を視察、さらに代々木のスポーツセンター、東京タワーを回り、午後五時新宿駅前で解散した。解説には[illegible]社会科教研副会長と山本全修協調研部長のほか通過個所では各区の教諭が交代で当たった。

【写真は都内見学の一行・浅草神社前で】

## お知らせ

四月一日から本協会事務所の地番が左の通り変更になりますのでお知らせいたします。

東京都千代田区西神田二丁目八番七号（幅ビル内）

昭和四十二年二月

財団法人　全国修学旅行研究協会

100万人の修学旅行コース ★ ★ ★ ★

科学技術館

修学旅行の学習効果向上のため、展示品の解説放送受信機（マグシーバー）を無料で、もれなくお貸しすることになりました。

● 冷暖房・団体休憩室(400名)・食堂(300名)完備
● 無料大駐車場(大型バス50台)

お問合せ…東京都千代田区代官町2　科学技術館・業務部　TEL東京(03)212−8471(代表)

★地下鉄（東西線）：竹橋下車　★日本武道館となり

奈良
大和の国なか
京都
京都の庭園
富士・箱根
日光
大和の塔

修学旅行映画シリーズを学習効果向上の事前指導にご利用ください。

お申込みは、ツーリストの修学旅行センターかお近くの営業所ご希望があれば、映写機の貸出し、技師出向もいたします。

全国170のサービスネット
近畿日本ツーリスト

# よき修旅のために

## 総合的な見地に立脚して

小林敦夫

### 単元の関連も考慮

修学旅行の見学地は、従来ややもすると一般向きの観光地が選定されている部分があったが、修学旅行の目的を再確認すれば、より教育的な日程と、コースの選定について研究を積み、いわゆる遊興地は避けるよう注意するとともに日程も児童生徒の身体発達段階、見学地の教育的効果、父兄の経済的負担力などを総合的に考慮し、無理のない日程で編成する必要がある。

どこの府県にも、日程について規則はあるが、定められた期間内であっても、よくばって見学地を多くしたりする。早朝出発、日没後宿舎到着などは病気や事故のもとになるものであって、注意しなければならない。

つぎに児童生徒に修学旅行の意義を理解させ、旅行中に見聞する事項は、どの科目の、どの単元と関係あるかを考察して、事前の指導に努めることが肝要であろう。

### 自主的な事前調査

宿泊地、交通機関の選定にあたり、旅行業者のあっ旋に頼るだけでなく、現地の警察署と連絡して風紀上の諸点について研究し、周囲の環境について予知しておくことや、現地の府県衛生部に事前に連絡して、旅館などの衛生状態について監督を依頼しておくことなど事前調査を充分してほしい。

### 相互援助の方法を

学校が児童生徒一人当りの旅費を決定するにあたっては、父兄の経済的負担を考え、できるだけ多くの児童生徒が参加できるよう配慮し、教育委員会が毎年示す基準の範囲内で稍々低い額とするよう心がけるべきである。

旅費は積立金によることが望ましいが、父兄の負担力の欠けているものに対しては、援護家庭や準援護家庭に対する就学援助費によるもののほか、なんらかの相互援助方法を考えてほしい。本県の修学旅行における父兄負担の平均は他府県のそれに比して高くならぬよう注意しているが、恵まれない子供たちに対する積極的な援助方法も考慮してゆくべきであろう。

（三重県教育委員会・教育長）

---

# 生きた観察から

伊佐田甚蔵

○…時代の変遷によって学校行事のすすめかたも、いろいろ変わってきた。とくに世相はそれらに大きな影響をあたえる。修学旅行も観光ブームに乗ぜられて本旨から遠ざかっていくようにみえ、あるいはこれを先導したり、または弱体化へと変貌する傾向にある。しさいに吟味してみるといろいろの理由があげられると思うが、それよりもここで元を考え直してみることが最も急務だと思う。

○…第一、教育の形態からいって、教室学習から離れて実態にふれ、眼で見、具体的に感ずるという生きた学習に移ることである。かくて知識欲も感覚も伸び伸びと旺盛になり、将来におよぶきわめて大いなるヒントを得ることである。

○…それは遠くより近きにおよぶことであるが、さらに郷土に帰って近きより遠きにおよぶ原理を感得することにもなる。生きた観察に出発して視野をひろげることについては、修学旅行ほど大なる効果をおさめるすぐれた行事はほかにはないと信ずるわけである。

（全修協・鳥取県支部長）

---

# 中学は三泊四日に

## 山形市修旅委で結論

山形市の修旅研究委員会では修旅のありかたとして小学校は一泊二日、中学校三泊四日、高校は六泊七日が適当で、車中泊や早朝出発、深夜到着はやめ、見学地も精選するとの結論を出した。規則によると中学は二泊三日だが、これは実情に合わないとしている。

---

### 全修協だより

▼本部事務局長・白滝末紀氏は肝臓病のため武蔵野日赤病院（東京都武蔵野市境南町一ノ二六）で加療中。経過は良好で近く退院の見込み。

訂正　一月号二面「修旅・どんなねらいで」の左上段、むつ工業高校教諭山内幸吉氏は山内幸右氏と訂正。

---

# 海の科学振興

## 修学旅行のスポット

## 江ノ島水族館

★…神奈川県江ノ島、湘南海岸の一角にコンビナート・グループを作っている江ノ島水族館、マリンランド、海獣動物園は生きた海の科学をいっぱいに取り入れ、児童生徒たちの興味をそそる。水族館には三百六十種に及ぶ世界の魚類が集められ、また〝音と光〟に関するテレビの特殊科学装置などが珍しい。二十数頭のクジラとイルカの豪快な水上立体ショーが呼びもののマリンランド、アシカの集団アクロバットショーに人気をあつめる動物園など、世界でも珍しい施設。

★…このほか深海魚や熱帯魚の飼育相談室があり、技術面の公開も海洋知識普及のための有意義なこころみといえよう。入館料は水族館と海獣動物園が高校生五十円、中学生三十円、マリンランドが高校生八十円、中小学生三十円でいずれも三十名以上。申し込みは神奈川県藤沢市片瀬西浜海岸江ノ島水族館団体サービスセンター（電話〇四六六・二二・四八五一）または東京都千代田区有楽町日活国際会館内江ノ島水族館本社（電話〇三・二七一・二二二二）年中無休。

（写真はチンパンジー特別出演のクジラの水上立体ショー）

---

# 万葉史蹟めぐり ②

# 古都への慕情うたう

堀田勇

妥女（うねめ）の袖吹きかへす明日香風京を遠みいたづらに吹く

飛鳥浄御原宮から藤原京に遷都後、志貴皇子は飛鳥をおとずれ、荒廃していく古都の空しさをこのようにうたわれた。

「妥女の袖吹きかへす」は、彼女等の華やいだ歓声も聞こえるような鮮明な表現であるが、「いたづらに吹く」にはやりきれないような絶望感さえこもっている。

## 飛鳥の里

持統天皇の皇弟とはいえ、天智天皇の皇子であった志貴皇子にとって、壬申の乱後の宮廷は心重いこともあったであろうから、「都を遠み」もあるいは心の重さの象徴であったのかもしれない。

古都にたたずまれる皇子の心をかすめていったものは、妥女の袖を吹いた飛鳥風を媒介としての人の世の寂寥感ではなかったろうか。

○……

その飛鳥の里も、かつて、大伴御行は

大君は神にしませば赤駒のはらばふ田居を京師となしつ

とうたっている。

作者は、壬申の乱にあたって天武天皇の陣頭で奮戦した勇士であるから、新京造営には格別な感慨を抱いていたであろう。

「赤駒のはらばふ田」が京師と化していくことは、御行にとっては驚異であるよりも畏怖すべきことであったろう。

「大君は神」は、決して作歌上の修辞ではなく、天皇讃仰の叫びのようなものである。

○……

志貴皇子より四十余年後、山部赤人は甘樫丘にのぼって次の秀歌をうたった。

三諸の　神名備山に　五百枝さし　繁に生ひたるつがの木の　いやつぎつぎに　玉かづら　絶ゆることなく　ありつつも　止まず通はむ　明日香の　旧き京師は　山高み　河とほしろし　春の日は　山し見がほし　秋の夜は　河し清けし　朝雲に　たづは乱れ　夕霧に　かはづはさわく　見るごとに　哭のみし泣かゆ　いにしへ思へば

反歌

明日香河川淀さらず立つ霧の思ひ過ぐべき恋にあらなくに

○……

赤人の古都への追慕の情が、哀感をこめてうたい得て妙である。「山高み河とほしろし」と飛鳥の里を概括したのち、対句を重ねて春秋山川の自然描写をし、息づくようにぽつりぽつりと句切している。感覚的な造型は、あたかも玉の触れあうように清澄な調べをかなでている。

○……

反歌の「飛鳥川の霧のように消えてしまう、そんな慕情ではないのだ」というあたり、自分の胸に言い聞かしているようで余韻がある。「昔をしのべば声をあげて泣ける」という長歌の末尾の激情とあわせて味あうとき、作者の飛鳥への愛のはげしさが私達の胸を強く打つ。

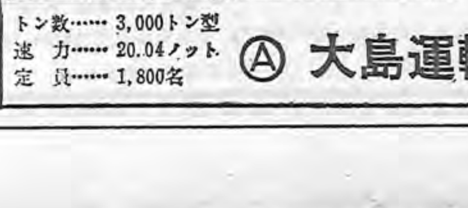
飛鳥安居院の境内に、この作品の歌碑がある。（随筆家・写真も）

写真は甘樫丘から飛鳥をのぞむ

一般客との混乗がありません
全船冷暖房完備の修学旅行専用船
わかば丸・ふたば丸
旅客定員805名・1,100トン
●船内での学習や研究ができます
●海・船の社会科研究もできます
楽しい有意義な瀬戸内海の修学旅行を！
関西汽船
●お問合せは… 大阪(441)9161
ほか関西汽船各地営業所・各旅行斡旋案内所

修学旅行は　名神ハイウェイを
最高のサービス……時速100キロ・冷暖房完備
リクライニングシート・座席確保
最低の運賃……名古屋―京都 2時間26分
新大阪 2時間50分
神戸 3時間31分
比良比叡の霊峰、犬山彦根の古城、さては奈良京都の古き良さを今に残す古寺やみ仏の数々等、白鳳天平からの古美術の静かなたたずまいを訪ねて、日本のふるさとを知る若人の想い出の旅のスケジュールに是非快適な名神ハイウエイバスツアーをお加え下さい。
お問合せ・お申込予約は当社へ
大阪市天王寺区上本町6―1―1
日本高速バス　TEL 大阪 771―6637～8　名古屋 521―8371～2

ことしの夏も　どうぞ
第11回　教職員研修旅行
コース
★北海道　★東北　★佐渡・磐梯
★黒四・乗鞍　★伊豆・富士
★南紀　★山陰　★四国
★九州　★奄美・徳之島　★香港・台北
申込み
詳細は学校へ配布した募集要項をご覧のうえお申込みください。
財団法人　全国修学旅行研究協会
東京都千代田区西神田1―3（幅ビル）
電話（262）2426・2932番



修学旅行は
日本最大の豪華観光船「ふじ」で
団体専用船「ふじ」が昭和40年8月に就航しました。科学の粋を集めた画期的な最新鋭船です。生徒達の心にいつまでも残るユニークな修学旅行をお約束します。
みなさまのスケジュールにあわせて全国各地のどの港へもご案内できます。
完全冷暖房、明るい船室、豪華なサロン、ローンジ、広いプロムナードデッキ、娯楽室、浴室
ふじ
トン数……3,000トン型
速力……20.04ノット
定員……1,800名
Ⓐ 大島運輸株式会社
お問い合わせは
東京支社
東京都中央区晴海町5の7
TEL (531) 9211(代表)